

国民より安倍総理の自己保身最優先！！

解散の大義なし

前原誠司代表は9月17日、安倍総理が28日召集の臨時国会冒頭での衆院解散を示唆したことについて「森友問題の会計検査院の結果報告、加計問題の設置審答申の追及から逃げるために、北朝鮮の状況を全く度外視して、国民の生命・財産をそっちのけで自己保身に走っている」と行政に加えて国会をも私物化する自公・安倍政権の政治姿勢を厳しく批判しました。



就任後初の記者会見に臨む前原誠司代表（9月1日）

冒頭解散に自民党内からも批判!?

安倍総理が画策する臨時国会冒頭解散には、「安倍総理が自ら約束した説明責任から逃げたように見えてしまう」「総理自身が仕事師内閣と命名した改造内閣で実績を積み上げ、その上で国民の審判を仰ぐのが筋だ」と、自民党内からも苦言を呈する声が上がっています。

大義：人のふみ行うべき重大な道義。
特に、主君や国に対してなすべき道。
(広辞苑)